

教科名		総合的な探求の時間	科目名	探究	履修学年	中学 ・ 高校	1年生全クラス							
単位数		1単位	使用教科書 補助教材等	教科書なし										
担当者		高 1 担任団		独自の教材を作成、使用する 外部サポートの教材も併用する										
学習目標		探究活動において必要なスキルを 3 回にわたるグループ探究を通して段階的に身につける。1 年時の最後には、2 年生以降に進める個人探究のテーマと各自の論題を見つける。												
評価方法														
評価観点		知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢						
評価規準		探究的な学習の過程において、課題設定に際しては、問題と課題を区別できており、解決に際しては、トレードオフの視点を意識できている。			実社会や実生活の中から論題（問い）を見つけ出し、自ら課題を設定して、情報を収集し、整理・分析・解釈し、まとめ・表現している。			探究的な学習に主体的・協働的に取り組みつつ、自らの将来について考えるとともに、積極的に社会に参画しようとしている。						
各観点の授業内 評価方法等														
学期末の 各観点比率(%)														
授業計画														
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等							時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2			
1	4	学習活動				外部サポート内容			1	1 学 期 評 価				
	5	① 全体オリエンテーション（1 年間の授業ガイダンスなど） ② 「グループ探究 1」@スタートセミナー準備 【評価ポイント】「自己と世界の拡大」 ③ 「グループ探究 2」テーマ説明 【評価ポイント】「情報の整理・分析・解釈」 ④ 情報の分析 ⑤ 情報の解釈・整理と不足情報の補足 1 ⑥ 情報の解釈・整理と不足情報の補足 2				並行してメンタリング① 並行してメンタリング① 提出 →テキストフィードバック			1 1 1					
		6	⑦ フィードバックの返却と記述内容の修正 1 ⑧ フィードバックの返却と記述内容の修正 2 ⑨ ポスター作成 ⑩ クラス内発表会 ⑪ 学年代表発表会				並行してメンタリング② →記述内容の修正					1 1 1 1 1		
			7									1 1 1		
	8								1 11時間					
		※生徒振り返りは個人で終了後に実施												
	2	9	⑫ 「グループ探究 3」テーマ説明 【評価ポイント】「問題の把握と課題設定」 ⑬ 情報の収集 ⑭ 問題の把握と課題設定 1 ⑮ 問題の把握と課題設定 2				並行してメンタリング③ 並行してメンタリング③ 一次提出 →テキストフィードバック					1 1 1 1	2 学 期 評 価	
10		⑯ フィードバックの返却と記述内容の修正 1 ⑰ フィードバックの返却と記述内容の修正 2 ⑱ ポスター作成 ⑲ クラス内発表会 ⑳ 学年代表発表会				並行してメンタリング④ 並行してメンタリング④			1 1 1 1 1					
		11	㉑ 生徒振り返り				→最終提出 →テキストフィードバック			1 1				
			12	㉒ 「個人探究」オリエンテーション・「テーマワンダリングマップ」作成練習 ※冬休み期間に「テーマワンダリングマップ」を書き進める（冬休みの宿題）							1 11時間			
3		1	㉓ テーマハッカソン（3 学期の個人探究準備として） ㉔ テーマハッカソン（3 学期の個人探究準備として） ㉕ 「テーマワンダリングマップ」から問いへ				※ここは2時間続きでの実施が望ましい			1 1 1	3 学 期 評 価			
		2	㉖ 「問い」の深化 1 ㉗ 「問い」の深化 2				メンタリング⑤			1 1				
			3	※上記の学習内容については、生徒の状態に応じて適宜変更を加えるものとする （学期または月単位で見直すものとする）										

教科名	総合的な探究の時間	科目名	探究	履修学年	中学・ <u>高校</u>	2年	全	組		
単位数	1	使用教科書 補助教材等	探究サポート ワークブックシート							
担当者	学級担任		探究サポート ワークブックシート 進め方ハンドブック							
学習目標	探究心を活かし、自分の興味関心や解決したい課題などを様々な参考文献や実験を通して論文を作成すること。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	別途ファイル 【2025【指導要録】総合的な探究の時間】 にて詳しく記載のため、省略									
各観点の授業内 評価方法等										
学期末の 各観点比率(%)										
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	1 春休みの課題の共有、論理の組み立てについて 2 探究のタネ・探究課題・仮説の検討 3 オンラインメンタリング（論理だて可能化の確認）/第二回の続き 4 第1 回オンラインメンタリング（論理だて可能化の確認）/オンラインメンタリングを受けて						4		
	5									
	6	5 先行研究の調査・結果記入① 6 先行研究の調査・結果記入② 7 第2 回オンラインメンタリング（アクションの方向性決め）/第6 回の続き 8 第2 回オンラインメンタリング（アクションの方向性決め）/調査・実施アクションの具体計画 9 調査・実施アクションの具体計画						5		
										7
	8	10 中間発表会 11 オリエンタルランド キャリア教育 夏休み アクションの実行/報告の作成						2		
	2	9	12 アクション結果の整理分析 13 アクション結果の整理分析②/論理の組み立ての確認 14 探究まとめ（骨子）を作る 15 第3 回オンラインメンタリング（骨子の確認）/探究まとめ（骨子）を作る							4
10										
11		16 第3 回オンラインメンタリング（骨子の確認）/骨子の確認 17 全体ワークショップ【論文の書き方の導入】 18 骨子から論文へ 19 第4 回オンラインメンタリング（執筆中の論文の確認）/骨子から論文へ 20 第4 回オンラインメンタリング（執筆中の論文の確認）/骨子から論文へ						5		
									12	
		21 論文の完成へ 冬休み 論文のフィードバックを受けて校正								
3	1	22 ポスター作成導入 23 ポスター作成 24 ポスター作成								
	2									
	3	25 ポスターセッションによる論文発表① 26 ポスターセッションによる論文発表②						3		
								2?		